

令和5年2月20日

蟹田・脇野沢航路に係る新船建造について

蟹田・脇野沢航路に係る新船建造について、御報告いたします。

本年2月1日、青森県、むつ湾フェリー株式会社、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構及びむつ市を含む関係13市町村による担当課長会議が開催され、青森県から、「県と会社が新船建造費の9割を負担し、13市町村が1割を負担する。」「13市町村は持株比率に応じて負担する。」という考え方と併せ、新船建造後の運営については、「運営支援が必要とならないよう県、沿線自治体が一丸となった利用促進に加えて、新船を活用した増収により、単年度黒字化を目指す。」とし、運営について基本的に市町村の負担は必要としないとの考えが示されました。

市といたしましては、利用促進については青森県がしっかり取り組むことや、市が検討を要請した運営費について、黒字化を図り市町村の負担を要しないとの説明があったことなどを総合的に判断し、寄港地としての応分の負担として、青森県が提案する負担割合について理解することといたしました。

なお、青森県の提案について、13市町村による理解が得られておりますことから、新船建造費につきましては、現行船「かもしか」と同程度の船を想定した場合、現時点で約22億円とされており、費用全体の9割となる19億8,000万円を青森県とむつ湾フェリー株式会社が負担し、残る1割の2億2,000万円を13市町村の持株比率に応じて按分し、外ヶ浜町が1億142万9,000円、むつ市が7,857万1,000円、残る11市町村が4,000万円を負担することとなります。

以上、蟹田・脇野沢航路に係る新船建造について御報告させていただきます。